

ナイトタイムエコノミーIn 長沙

近年、日本では訪日外国人観光客が増加するとともに、インバウンド対策としてナイトタイムエコノミーは注目を浴びている。一方、中国でも最近ナイトタイムエコノミーは話題になっている。

中国商務部が発表した都市住民の消費習慣に関する調査によると、消費の60%は夜間に発生しており、デパートでは毎日午後6時～10時の売上高は一日の半分以上を占めているという。「ナイトタイムエコノミー」は今や都市部の消費をけん引する新たな成長源となっている。最近、中国各地方政府は「ナイトタイムエコノミー」の推進に力を入れ、北から南まで「ナイトタイムエコノミー」の消費・業態はさらに多様化している。

今回は湖南省の省都である長沙のナイトタイムエコノミーについて紹介していく。

近年、長沙市のナイトタイムエコノミーは急成長を遂げ、夜間消費人数の伸び率は49%に達している。



香港九龍倉グループによって建設された総合商業施設「長沙国金中心」(略称:長沙IFS)¹

一、長沙のナイトタイムエコノミーの内訳

長沙のナイトタイムエコノミーの内訳を分析すると、湖南料理、演劇・コンサート・ライブ、バー、足マッサージなどは定番だ。

「グルメの都市」として知られている長沙では、夜中1時になっても太平街、火宮殿、坡子(ポーゾー)街ではザリガニ、焼肉、ウシガエルや臭豆腐、ビーフン等を楽しむ人々で賑わっている。

¹ 出所:長沙晩報



歴史文化街で、歩行者天国として知られる太平街²

頻繁に行われているライブ、ミュージックフェスタ、ミュージックウィークで長沙は情熱と活気あふれる都市になった。今年 6 月に賀龍体育館で行われたシンガポール出身の歌手林俊傑 (JJ Lin) 氏のライブには 4 万人余りが集まった。中国の若者の間で大人気のストロベリーミュージックフェスタが長沙で開催され、台湾出身の李宗盛氏 (Jonathan Lee)、周傑倫氏 (Jay Chou) 等有名な歌手たちが次々と長沙でライブをするようになった。

24 時間書店、24 時間レストラン、24 時間コンビニがどんどん増えてきて、映画館、カラオケ、インターネットカフェ、バーの深夜消費が人気を呼んでいる。

ミニカラオケ、DJ バー、テーマホテル、民泊などは若者の間で人気を集めている。夜空を彩る花火大会、ナイトマーケットでの無形文化財体験、夜中の伝統演劇演出、いずれも人々を引き付けている。



飴細工の屋台 (中国語で吹糖人)³

² 出所：湖南日報新聞・映像センター

³ 出所：長沙晚報

二、長沙ナイトタイムエコノミーのブランド

2018年の七夕、今年の「一帯一路」青年創意・遺産フォーラムの時、何百機のドローンが夜空に様々な模様を描いた。煌びやかな演出をしたドローンショーは多くの感動を呼んだ。



2018年七夕の時、長沙橘子洲で行われたドローンショー⁴

湖南省初の24時間書店である徳思勤書店は、質の良い本を提供するほか、過去四年間で800回以上の文化関連イベントを主催し、100名余りの作家を招いて読者との交流の場を設けた。気分転換と落ち着いて仕事をできる場所となっており、年間利用者は延べ140万人を超えた。



深夜1時、カップルが24時間書店で本を読んでいる⁵

⁴ 出所：湖南日報新聞・映像センター

⁵ 出所：湖南日報新聞・映像センター

夜 12 時になっても長沙発のミルクティーブランド「茶顔悦色」は行列ができており、長沙市民が誇りに思うブランドになっている。

アジア最大規模の「文和友」ザリガニ店は長沙の新しいランドマークと観光スポットにもなっている。今年五月の四連休の時、一日に 7000 以上の番号を発券したという記録を残し、年間売上高は一億人民元（約 15 億円）以上を超えている。メディアの報道によると、5000 m²のお店は 2 万 m²に拡大し、店内に長沙徳雲社（中国の有名な漫才団体）、述古書店、居酒屋、写真館、絵葉書郵便局を新設した。さらに「文和友美術館」を長沙初の夜間美術館として運営していく。これによって利用者は長沙の美味しい料理を楽しむと同時に、地元の文化にも触れ合うことができる。



夜中、ザリガニを食べている人たち⁶

三、今後の長沙ナイトタイムエコノミー

今後の長沙ナイトタイムエコノミーはようになっていくかという、長沙のメディアは次のようにまとめた。

☆ナイトショッピングを推進していくため、これから 30 の大型総合商業施設を建設し、一つのトップレベルの商業圏づくりを促し、八つの高級商業圏の質を向上させ、4つの県（市）で特色ある商業圏を育てていく。

☆夜食・グルメという特色を生かし、ナイトレストラン街、特色ある夜市を企画・建設し、ネットで人気を集めているグルメのお店を PR していく。

☆ライトアップされた夜景と湘江沿いの建物を活用し、ナイト観光ルートを創り出していく。

⁶ 出所：湖南日報新聞・映像センター



長沙の夜景⁷

☆ナイトライフ文化体験を豊かなものにし、博物館、図書館、科学技術館などを夜中の活気があふれるエリアに開発し、劇場のナイトパフォーマンスを増やし、ネットで人気を集めるバーや特色ある街を創り出していく。

☆商業施設周辺の公共交通機関のルートを改善するとともに、より多様な宿泊施設を提供していく。

☆引き続き、橘子洲花火大会とドローンショーを通じて人気を集めていく。



五一商圈周辺⁸

これからの長沙ナイトタイムエコノミーが人々により良い体験を提供していくだろう。

(本文は長沙晩報、八方政事ウィーチャットアカウントなどの報道に基づき執筆した)

⁷ 出所：湖南日報新聞・映像センター

⁸ 出所：湖南日報新聞・映像センター